

真剣味



中京大学 | 広報 182号

2015年1月30日発行

主な内容

- ② 次期学長に安村仁志副学長
- ③ 中京商業学校の甲子園決勝が舞台の台湾映画公開
- ④ 赤ちゃん型ロボット開発
- ⑤ 現代社会学部キャリア構想レクチャー
- ⑥ 学生FDシンポジウム／東濃信用金庫と産学連携の推進協定
- ⑦ 教員採用試験の結果／2015年度学年歴
- ⑧-⑨ 就職内定者の体験記／主な内定先
 - ⑩ 中京人往来「箱根駅伝優勝監督・原晋さん」
 - ⑪ 景気シンポジウム「今年の経済見通し」
- ⑫-⑬ AO・推薦入試結果／2015年度学費
- ⑭-⑮ セミにフォーカス「人間の行動」
- ⑯-⑰ 学生の活動・活躍(学習研究・スポーツ・文化)



中京に歴史あり 1961年 ◀◀

山手通に面した体育館で行われていた卒業式。この年、体育学部から第一回卒業生が巣立っていった。学部開設の1959年、2年生に編入した12人である。式典は商学部と合わせ163名のこじんまりとしたセレモニーだったが、卒業生代表の謝辞は凜として会場に響き渡った。

次期(第8代)学長に 安村仁志副学長を選出



「人間味溢れる」安村仁志教授

京都生まれの京都市育ち、大学院修了と同時に中京大学講師として赴任した。以来、“学生との人格的交わりを大切にしたい”をモットーに、学生たちとロシア語劇にもチャレンジしたりして、中京大学一筋40年。FD委員会委員長として、「より良い教育、届く授業」の推進に取り組んできた。

会って直接話すと、温かい人柄がにじみ出る。あいさつに立つと、ユーモアに富んだシャレを披露し、座を和ます。反面、1969年に受洗し、日曜日は教会に通う敬虔なクリスチャンでもある。在学生や卒業生との親交も厚く、学生食堂で教え子と食事を一緒にすることも多く、副学長室や研究室を訪れるOB、OGも多い。

専攻はロシア語をベースにロシア正教会史、東方正教会神学で、歴史、文学、美術など守備範囲は広い。

北川薫・現学長の任期満了(2015年3月31日)に伴う学長選挙が行われ、12月12日、中京大学の次期(第8代)学長に、安村仁志副学長(国際教養学部教授)が選出された。任期は2015年4月から4年間。

安村副学長は、大阪外国語大学大学院外国語学研究科ロシア語学専攻を修了後、1974年4月に中京大学教養部講師に着任。助教、教授となり、教養部長、社会科学研究所長、図書館長などを歴任。2010年から副学長に就任した。学校法人梅村学園評議員、理事でもある。

任期2015年4月から4年間

4月から学長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

大学とは何か―研究によって知を進歩させ、教育において知を拡大し、社会的発信により知を普及させることと要約されたりします。

これらが学問研究と学生の教育に具現化するよう努めてまいります。

今日、「これまで経験したことのないような」困難な課題が山積しています。また、予測困難な時代だとも言われます。その中で本学はこれから取り組んでいく

決意と抱負

大学の主人公は学生 挑戦していく場を創出

計画NEXT10を、策定いたしました。

同時に、私立大学として、本学には《学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ》のもとに、教育目標としての具体的で普遍的な四大綱「ルールを守る」、「ベストを尽くす」、「チームワークをつくる」、「相手に敬意を持つ」があります。

そのベースには「大学の主人公である学生を大切に」を置いて大学を創り上げてまいります。「何をやるか(What to do)」、「それをどのように進めるか(How to do)」、「どのように力を合わせるか(With whom to do)」を念

頭に置き、教員―学生―職員がそれぞれの立場で「ベストを尽くす」ことを求めています。Do our best!です。学生が、ただ授業に出て、指導を受け、卒業していくという受け身ではなく、自覚をもって学修し(学習から学修へ)、自ら考え、行動していくという能動性を身に着けられるようにしていきます。そのもてる力・可能性を引き出すべく、学生たちが自主的にチャレンジしてくれるような「場」を創出していきたいと思えます。

本学はこれまで時代を先取りし、果敢に挑戦してきました。この「進取」の伝統に立ち、地域・世界に目を向けつつ、《中京》のオリジナリティを求めてまいります。

(安村 仁志)

1931年 夏の甲子園決勝

中京商業学校(現・中京大中京) **X** 嘉義農林学校(台湾代表)

感動の台湾映画『KANO』 クライマックスシーンに描写



実話に基づいた作品。昨年2月に封切された台湾では、感動的な実話が評判を呼び、大ヒットを記録した。映画のクライマックスシーン、中京商業学校との甲子園決勝戦は、部員たちの必死のプレーやチームワーク、5万5000人の大

観衆の声援など、当時の様子が再現・描写されている。

日本での公開に先立ち、中京高等学校の生徒480人が試写会に招待された。80年以上前に活躍した先輩たちの勇士や人間味が生徒たちの琴線に触れた。

高校球児が熱戦を繰り広げる夏の甲子園に、台湾代表チームが参加した時期がある。日本統治時代の1931年(昭和6年)、台湾代表の嘉義農林学校は決勝戦まで勝ち上がっていった。迎え撃つは、中京商業学校(現・中京大学附属中京高等学校)。結果は4対0で、中京商業学校が勝利。その年から3連覇を成し遂げ、『野球の中京』の名を全国に轟かせた。

1月24日から全国で公開される台湾映画『KANO 1931海の向こうの甲子園』は、連敗続きだった嘉義農林学校(通称・嘉農)野球部が台湾代表となり、甲子園決勝まで勝ち進む奮闘ぶりを描く



「信念貫く決勝は
英雄同士の戦い」

【公開記念対談】

梅村 清英理事長
馬 志翔監督

全国公開を記念して、12月1日、梅村学園の梅村清英理事長と映画『KANO』の馬志翔監督が対談をした。

馬監督は特に気を配ったシーンを「中京商業との決勝戦。純粋な英雄同

士の戦いの中で見せる一球入魂の姿勢」と話す。梅村理事長は「まさに困難にあっても諦めず、信念を持ち続けることが本学園のスポーツの原点。映画化していただいたことに感謝」と述べた。



寄せ書きの書かれた国旗を交換する中京高校と韓国・漢西高校の生徒代表

教育連携、学生交流視野に ◆ 日韓スポーツ交流 ◆

梅村学園主催

懇親会で梅村清英理事長は「今回の交流をきっかけに、中京大学へ進学する生徒が出てくることを期待。今後も良き関係を築いていきたい」とあいさつ。崔秀赫(韓国・中京私学校長)は「若い時の交流は記憶に残り、お互いを理解するのにいい。日韓の友好関係が深まることを願っている」と期待を込めた。生徒たちは、それぞれの国旗に寄せ書きをして交換し合った。

感想を語った。

梅村学園は11月23日、韓国から高校2校(漢西高校、永登浦工業高校)を招き、中京大学附属中京高等学校との「日韓スポーツ交流」を、中京大学豊田キャンパスで開催した。サッカーとバスケットボールの親善試合、各クラブ主将の挨拶や記念品交換など懇親会が行われた。

本学園は韓国の漢西高校と教育連携、学生交流を視野に、5年前から学校見学や意見交換を重ねてきた。韓国の中京私学校長会とのつながりもでき、日韓のスポーツ交流が実現した。

全国高校サッカー大会に出場した中京高等学校サッカー部主将の市川兼伍さん(3年)は「スポーツで違う国の高校生と交流でき、いい経験になった」と

工学部の加納政芳准教授が研究開発

「何もできない赤ちゃん型ロボット」1月21日発売



工学部の加納政芳准教授が2008年から研究開発してきた『何もできない赤ちゃん型ロボット(愛称ベビロイド)』が、1月21日、発売された。製作・販売は、産学連携で協力してきた部品メーカーの東郷製作所(愛知県東郷町)。商品名はスマイビ、価格は6万8千円(税別)。高い高いをすれば喜び、揺れ

商品名:スマイビ
 素材:顔はシリコン製、胴体は柔らかく布製
 サイズ:身長44cm、重さ1.2kg
 価格:6万8000円(税抜き)
 販売方法:東郷製作所直販

が激しければ乱暴されていると感じて泣いてしまう。ベビロイドは内蔵されたセンサーで姿勢や揺れを感じ、喜怒哀楽を表す音と音声で知らせる。「マーマ」などの言葉、笑い声や泣き声などは全部で500種類。涙や頬の赤みはLEDによって表現している。また、内蔵されたマイクにより、声や音にも反応し、首を振ったりもする。何もできないロボットトという斬新な発想で

高齢者に癒しを

価格は6万8000円

ロボティクスをその分野でも役立てたいと考え、研究をスタートした。実証試験段階で、高齢者9人に1カ月使用してもらったところ、『世話をするのが楽しい』などの感想があり、また、抑うつ度の改善がみられた。今後は独居高齢者の孤独回避などにも応用できるのではないかと考えている」と経緯や可能性について説明した。



記者会見で説明する加納准教授(右)と研究室の学生

●小川和也教授(文学部)がサントリー学芸賞

大老刺殺事件に 儒学思想から迫る



文学部歴史文化学科の小川和也教授の著書『儒学殺人事件―堀田正俊と徳川綱吉』が「サントリー学芸賞(社会・風俗部門)」を12月9日に受賞した。同賞は広く社会と文化を考える独創的で優れた研究、評論活動

文学部歴 史文化学科の小川和也教授の著書『儒学殺人事件―堀田正俊と徳川綱吉』が「サントリー学芸賞(社会・風俗部門)」を12月9日に受賞した。同賞は広く社会と文化を考える独創的で優れた研究、評論活動

した人に顕彰される。江戸時代前期に江戸城で起こった大老刺殺事件の背景には、いか

に儒学によって国家統治を行うか、5代将軍・徳川綱吉と大老・堀田正俊の儒学観の相違に起因する対立があった。受賞作は、事件の核心に儒学思想から迫っている。錯綜した事件において、自由にももの言にくい時代に残された史料の行間を読み解き、構成し、叙述する著者の手腕は素晴らしい」と評された。

●青木・奥水教授(工学部)らが小田原賞

トヨタ自動車等と 部品検査方式を共同研究



工学部の青木公也教授、奥水大和教授と豊田中央研究所、トヨタ自動車による共同研究「内視鏡型センシングと気付きアルゴリズムによる自動車部品検査方式」が、12月4、5日に開かれた画

像処理分野の国内最大級の研究発表会「ビジョン技術の実利用ワークショップ(VIEW)」において最優秀論文賞「小田原賞」を受賞した。

自動車部品の円筒形状部の内面にある微小なキズを自動検出する。これまでの研究成果を展覧させ、実際の製造現場で実用できることを実証した。

今回の研究は2012年に同賞を受賞した「周辺視と固視微動に学ぶ『傷の気付き』アルゴリズム」が実際の検査に用いられた例でもある。

キャリア構想レクチャー

「大学での学びと将来」を描く

現代社会学部 〈1年生対象〉



KJ法を用いて議論する1年生

来年度、4専攻制を導入するとともに、キャリア教育にも力を置く現代社会学部が12月6日、1年生を対象に新企画「キャリア構想レクチャー」を豊田キャンパスで実施した。

最初に、社会の第一線で活躍する同学部の卒業生5人が、「大学での学びは社会で役立つか」「大学で何をしておくべきか」を、仕事や生活の経験に基づいて問題提起した。1年生80人は17グループに分かれて、KJ法（記入したカードをまとめていき、ストーリーを作る発想法）を用いながら議論。大学での学びと将来をポスターに描き、卒業生と教員に報告した。

参加した1年生からは「メリハリのある学生生活が大切」大

学4年間を主体的に行動すること、また多様な経験を積むことが重要」などの感想が述べられた。

現代社会学部は来春から、社会学の学びで鍛えた知識とスキルを生かして、職業人として生きていく力を涵養させるキャリア教育に、4年間、一貫して取り組んでいく。特徴は、社会学の学びと個人のキャリア形成をつなぐための科目「社会構想学」などを開講することと、キャリアを専攻の枠を越えて組織的にバックアップする体制にある。

現代社会学部のキャリア教育は、働き方や自分の居場所を見つけ、現代社会で生き抜く能力（「シチズンシップ」）の獲得を最終目標としている。

長滝祥司教授（国際教養学部）が優秀研究賞

ロボット使い

意図理解の過程再現



北陸先端科学技術大学院大学特任助教と柴田正良・金沢大学教授

国際教養学部の長滝祥司教授が12月14日、金野武司・

を向いている異なる対象を見ていることがある。長滝教授らは、その状況を人（被験者）に

授との共同研究である「ロボットとの共同注視場面において注視対象の確認手続きが与える主観評価への影響」で、HAI-2013における優秀研究賞を受賞した。

自覚させた際に、ロボットに対する人の主観的な評価の変化を調べることで、意図理解の過程を再現した。注視対象の不一致は、ロボットとの親和性を失わせる一方で、ロボットの人間らしさ（自律性）を高めることに寄与するのではないかと結論づけている。同研究は、長滝教授の7年以上にわたる学際的なプロジェクトの成果の一部。

貴重書 13 図書館の



清少納言枕草子抄

（貴130）

六条家旧蔵の極美本

『清少納言枕草子抄』は、和学者で俳諧師の加藤磐斎が著したと目される『枕草子』の注釈書である。十五巻十五冊で、延宝二年（1674）五月に京都の田中権兵衛が出版したもの。ちなみに磐斎は、同年

八月に尾張国熱田で客死している。表紙に貼られた題籤には「清少納言枕草紙抄」とある。本書は、北村季吟の『枕草子春曙抄』、岡西惟中の『清少納言旁註』とともに近世の三

註と呼ばれるが、成立はこの二書に先行する。『枕草子』の全巻にわたる詳しい注釈としては、現存最古のもの。冒頭で『枕草子』について七項に分けた解説がなされているが、そのうちの第三項の「大意」において、同書を「教諭の書」と位置づける。儒教的思想に基づき、現在とは全く異なる捉え方と言えよう。その後全文を百五十七段に分けて、詳細な注解を施す。中京大本は、儉鈍箱に収まる原装の極美本。刷りも良好で、僅かに虫食いが見られるものの、手擦れなども殆どない。「六条家蔵書」という蔵書印が捺されており、堂上公家（昇殿を許された公家）の六条家の旧蔵書であったことがわかる。

（文学部教授 柳沢昌紀）



学生FDスタッフ 初のシンポジウム

「本当に良い授業」 学生と教員で考える



FDや「より良い授業」について話す加藤教授

大学教育の質的な向上などを目的とした活動 (Faculty Development) に学生が取り組む「学生FD活動」について広く知ってもらいたい。学生FDスタッフが名古屋キャンパスで11月17日に、豊田キャンパスで12月16日に初めてのFDシンポジウムを開いた。本学FD委員会が後援。同委員会が最後の授業後に実施している「授業改善のためのアンケート」が生かされているのか、本当に良い授業とは何か。メンバーや学生が広く説明を受けようとした。

アンケートに記載された学生たちの要望を受け、教員は授業を改善している。しかし、同じ授業を2回履修しないため、学

生たちが実感できる機会は少ない。名古屋キャンパスでは、経済学部鈴木崇児教授、国際教養学部の風間孝教授、埴淵知哉准教授の3人が難易度や、座席によってスライドが見づらいといった授業環境などの意見に対するフィードバックについて説明した。埴淵准教授は「教員にアドバイスするつもりでアンケートを書いて」と呼びかけ、鈴木教授は「授業アンケートは学生、教員、事務職員、理事会といった、中京大学全体のためにある」と力強く述べた。

アンケートを基に

学びの土壌作り探る

豊田キャンパスでは、現代社

席を取ると授業に出るが、成績

東濃信用金庫と協定締結

企業診断を通じ、 地域の発展に貢献

ビジネス・イノベーション研究科

本学大学院ビジネス・イノベーション研究科と東濃信用金庫は、12月8日、「産学連携の推進に関する協定」を締結し、名古屋キャンパスで調印式を行った。相互に協力し、企業診断を通じた地域の企業支援、地域の発展に貢献していく。

北川薫学長は「中小企業診断士の活躍の場が広がっている。即戦力となる、そして地域企業に望まれる診断士を多数輩出するなど、地域経済の発展に努めていく」とあいさつ。市原好二・東濃信用金庫理事長は「中小企業診断士を目指す大学院生には、

と述べた。

同研究科は、通学制の中小企

実習の場として顧客企業を様々な角度で分析していただきたい。取引先企業が革新のヒントを得られることを期待している」



調印式後、握手する北川学長(左)と市原理事長

業診断士登録養成機関として、日本で初めて経済産業省に登録された。カリキュラムの一環として、企業実習先で企業診断を実施。1社に対して3カ月間、2年間で5社の実習経験を積む。宮川正裕・研究科長は「このプログラムは、中小企業診断士一次試験に合格している院生と実習指導員が共に実施するもので、その経営診断内容は診断先企業や紹介元の金融機関から高い評価を受けている」と説明した。

同研究科の連携協定は、豊川信用金庫、名古屋銀行に次ぎ3機関目。岐阜県の企業は初。また、修了生が「中京診断士会」を立ち上げて院生の指導を行うなど、新たなネットワークが構築されつつある。

とは相関関係がないのでは」などと活発に意見が飛び出した。参加者の林正隆さん(現代社会学部3年)は、「座席指定の授業では緊張感のような良い効果が得られたと聞き、実験的にいろんな手法を取り入れても良い」と話していた。

豊田学生FDリーダーの細野修汰さん(スポーツ学部3年)は「夏にFDサミットに参加して、同年代の学生たちが大学を良くしようとしている姿を見て気分が高まった。主体的に学びについて考える素晴らしさを入学式などでもPRし、一緒に活動する仲間を増やしていきたい」と話している。

2014年度 教員採用試験
4年連続200人超える

現役54人、既卒165人

2014年度教員(公立学校)採用試験の現役・既卒の合格者は合計219人に上り、4年連続で200人超となった。内訳は現役学生54人(昨年49人)、既卒が165人(同171人)。

学校別では小学校57人(同47人)、中学校73人(同81人)、高等学校46人(同56人)、特別支援学校・養護学校など40人(同33人)、中学校・高等学校3人(同3人)。

地域別内訳は愛知県が106人、名古屋市22人、岐阜県16人、三重県9人、和歌山県6人の順。北海道から九州地方まで全国35都道府県や市で採用試験合格者が出ている。

■教員採用試験合格者数

	2014年度		2013年度		2012年度	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
小学校教諭	20	37	13	34	18	26
中学校教諭	21	52	21	60	24	73
高等学校教諭	10	36	14	42	9	40
中学校・高等学校教諭	1	2	1	2	0	2
特別支援・養護学校教諭など	2	38	0	33	0	26
合計	54	165	49	171	51	167
	219		220		218	

※合格者数は1月8日現在の数字で、都道府県市の各教育委員会および個人からの報告を基に教務課が集計。判明分のみ。補欠合格を含む。

やりたいことサポート
メリハリある接し方で

スポーツ科学部 井上 彩佳
(一宮西高校)



就職先▶ 愛知県小学校

私が教師を目指した理由は、小学校時代に所属していたバスケットボール部の先生に憧れたからです。明るく人気者で、時には厳しく叱ってくれる、そんな先生でした。私は子どもながらに「こんな大人になりたいな」と思っていました。

しかし、大学4年間ずっと教師を目指す思いが変わらなかったわけではありません。陸上競技部のマネージャー経験を生かせる2、3社に絞って就職活動を行いました。面接に向けて自己分析を行う中で、やはり私にとって魅力的である、教師という仕事に就きたいのだと再確認することができました。

教育実習は小学校と中学校に行き、実際に子どもと触れ合う中で授業の進め方や指示の出し方などを1から学びました。チャイムが鳴ればどうしても子どもの集中力は切れてしまうので、時間内に必ず終わることを心がけました。子ども達から「先生の授業楽しかったよ」と言われると、とても嬉しく自信も持てるようになりました。

先生方を見て、子どもたちと一緒に遊ぶときと、叱るときとのメリハリが大切であると思いました。子どもの特徴を見極めて、接し方や話しかけ方を注意しながら、やりたいことをサポートしてあげられるような教師を目指し、共に学んでいきたいと思っています。

2015年度 学年暦

祝日7回が平常授業

授業や集中講義、定期試験など2015年度の「学年暦」が決まった。春学期が4月6日、秋学期は9月18日に授業を開始する。

授業回数は春学期、秋学期それぞれ15回。授業日数を確保するため、7回の祝日(4月29日、7月20日、9月21日、9月22日、9月23日、10月12日、11月23日)が授業日となる。

また、再試験制度のあり方について見直した結果、次年度より全学部で廃止することが決定した。定期試験、追試験は例年通り。成績開示は、8月26日、2月16日。

春学期		
月	日(曜日)	行事
3	24(火)~26(木)	履修登録(2~4年)
4	1(水)	入学式
	1(水)~4(土)	各種ガイダンス(1年)
	3(金)	履修登録(1年)
	4(土)	履修時間割開示(全学年) 履修登録追加修正(1・2年)
	6(月)	授業開始
	6(月)~10(金)	履修登録修正(全学年)
	29(水)	昭和の日(平常授業)
5	18(月)	中京大学創立記念日(平常授業)
7	18(土)	休講
	20(月)	海の日(平常授業)
	22(水)	平常授業終了
	23(木)	授業予備日
	24(金)~30(木)	定期試験
8	3(月)~7(金)	集中講義
	26(水)	成績開示(全学年)
	27(木)~31(月)	追試験
9	1(火)~2(水)	

秋学期		
月	日(曜日)	行事
9	11(金)~15(火)	履修登録(全学年)
	17(木)	履修時間割開示(全学年) 履修登録追加修正(1・2年)
	18(金)	授業開始
	18(金)~24(木)	履修登録修正(全学年)
	21(月)	敬老の日(平常授業)
	22(火)	国民の休日(平常授業)
	23(水)	秋分の日(平常授業)
10	12(月)	体育の日(平常授業)
	30(金)~31(土)	大学祭(休講)
11	1(日)	休講
	21(土)	休講
	23(月)	勤労感謝の日(平常授業)
12	22(火)	年内平常授業終了
1	6(水)	平常授業再開
	19(火)	平常授業終了
	20(水)	授業予備日
	21(木)~27(水)	定期試験
2	1(月)~5(金)	集中講義
	16(火)	成績開示(全学年)
	17(水)~23(火)	追試験
3	8(火)	卒業・進級判定発表 (4年・情報理工学部2年・工学部)
	19(土)	卒業式

留学で培った英語 使って社会貢献



国際英語学部 矢橋 理沙
(中京大中京高校)

内定先▶ 楽天(株)

ITサービス、金融、プロスポーツ事業 東証上場

大学2年次に経験したアメリカでの交換留学と、帰国後から務めている国際センターでの留学アドバイザーの活動が就職活動に大きな影響を与えました。

1年間の留学は私の人生を180度変えました。自分の行動次第で可能性をどんどん広げることができることを実感し、人は新しい物と出会うことで人生を豊かになると感じたからです。

帰国後は、1人でも多くの後輩に留学の魅力を伝えたいと留学アドバイザーを務め、留学準備を手伝いました。自分が発信源となり、学生の新たな物との出会いのきっかけを作っているということを感じ、大きなやりがいとなりました。

初対面の人にはうまく自分を出せず萎縮しがちな私ですが、家族や友人のサポートや、留学アドバイザーとして自分の思いを話してきたことが自信になりました。面接ではいつも、面接官の方と会話に行くような気持ちでリラックスして臨むことができました。

就職活動を始めるときに考えたのは、「どのような形で社会に貢献したいか、働くことを通して自分はどうなっていたいのか」です。楽天の社内公用語は、私が4年間の授業や留学で伸ばしてきた英語です。「まだ知らない良い物」を、国内だけに留まらず、英語力を更にレベルアップさせながら、世界中にも広める一役を担っていきたいです。

ゼミ活動を自信に 地方から全国へ



総合政策学部 石崎 智之
(小松明峰高校)

内定先▶ 国分(株)

酒類、食品の卸売、販売、貿易 食品卸売業最大手

私の所属する羅プロジェクト研究(ゼミ)はビジネスプランを立案し、コンテストに参加しています。毎日授業の合間を縫って集まり、100個の案出しや、実現可能性を確かめるため200人以上にアンケート調査、プレゼンテーションや意見交換などを行いました。その結果、全国1,300チームが参加したビジネスコンペで優秀賞を頂きました。

石川県出身の私は2年次から、地元で就職し地域貢献したいと考えていました。しかし、ゼミで寝る間を惜しんで努力し、全国で高く評価されたことが自信につながり、全国展開する大手企業にも挑戦したいと思うようになりました。

食品業界に興味があり、飲料やビールなど誰もが知っている商品を取り扱いたいとメーカーを志望しましたが、結果は全滅。悔しくてたまりませんでした。しかし、「食品専門商社ならこれらの商品を全て扱える」と考えました。

1万8千件も応募がある国分株式会社の面接では「学生時代頑張ってきたことは何ですか」と聞かれ、私はゼミで培った「行動力」をアピールしました。チームに働きかけたり、何度もアンケート調査に足を運んだりした行動力が評価され内定を頂くことができました。

ここまで頑張れたのはゼミの存在が1番です。面接が苦手なら得意な人からアドバイスを貰うなど、ゼミ生同士の頑張りがエネルギーになりました。

徹底して情報集め 生き生き働く姿想像



経営学部 岡川 奈布
(長良高校)

内定先▶ エーザイ(株)

医薬品、医薬部外品の製造販売 東証上場

遠方で就職活動を行うことが多かった私は、自分自身で足を運び、情報収集を行うことに徹しました。説明を聞く上で惹かれるものや、やりたいことにマークを付けていき、共通点を探して企業・業界選びの軸を作りました。①常に吸収、向上できる②男女関係なく仕事ができる③信頼関係が構築できる。バリバリ仕事をする中で、自信や支えになるようにと考えました。

携帯電話販売のアルバイト経験から、販売や営業をしたいと強く思っていました。中でも、人々の健康に必要な不可欠な薬を扱い、仕事内容が明確なMR(医薬情報担当者)に興味を持ちました。医療機関を訪問し、薬の営業をする姿が想像でき、生き生きと仕事が続けられると思いました。女性の管理職が多く、同じゼミの先輩もMRとして活躍していて、目標になりました。

エーザイは認知症の薬を出しています。説明会で「患者と、介護者や家族など周りの人もサポートしている」と聞き、薬を使う本人だけでなく周囲の人のサポートを重視していることに関心を持ちました。調べてみると京都で起きた認知症母殺害心中未遂事件などから、家族の苦悩や一人で介護をすることの難しさを知りました。私も周囲の人の一員として手助けしたいと強く思いました。探究心を忘れずに、苦しむ患者さんやサポーターの方々に減らしていけるよう頑張ります。

ゼミや留学の経験 仕事に役立てたい

上場企業と有力企業における2015年春の新卒大学生採用計画は前年比16.6%増で、6年ぶりに10万人を超えた(4,590社対象、日経リサーチ調べ)。経済政策や東京五輪開

催決定を受けた景気の向上なども影響し、大学への求人倍率は昨年1.28から1.61へ好転した。

採用意欲は高まっているものの、採用基準を「前年と同様」とした企業は84.5%、「前年より上げた」企業は15.5%。キャリアセンターは、「学業成績や、物事に進んで取り組む主体性、目的を設定し行動する実行力といった質をより重視する厳選採用が続いている」と分析する。

キャリアセンターの取り組みや今年度の主な内定先、就職活動を終え将来の夢に一步近づいた3人の体験談を紹介する。

OB・OG相談会

大学と卒業生が連携し 仕事選び支援



企業の第一線で活躍する卒業生が就活生を後押しする「OB・OG相談会」を12月20日、本学キャリアセンターが名古屋キャンパスで実施した。学生の仕事探しのモチベーションを高めることが目的。業界研究を進め、希望する職業の幅を広げながら、仕事に対するイメージをより具体的に持つことができるよう、毎年開催している。

製造や商社など21業種57人の若手卒業生が、就職活動中の3年生に面談形式でアドバイス。仕事内容や、留学・クラブ活動といった経験が職務上どのように役立っているかなどについて親身に答えていた。

川添航さん(2008年法学部卒)は「中京大学出身だから安心して任せられる、と評判になるよう、一層仕事に打ち込んでいきたい」と、後輩たちのために努力することを誓った。

◎2014年度 主な内定先一覧

サービス業 ミエデンシステムソリューション、ミキハウス、楽天、インテック、NSD、エヌ・ティ・ティ・データ東海、TIS、日本アイ・ピー・エム、ヤフー、トヨタテクニカルディベロップメント、ワタキューセイモア、中部日本放送、ジェイアール東海ホテルズ

運輸・通信業 エイチ・アイ・エス、ANA中部空港、キムラユニティー、近畿日本ツーリスト、近鉄エクスプレス、五洋海運、JTB中部、中部国際空港旅客サービス、ドリームスカイ名古屋、日本旅行、名港海運、郵船ロジスティクス、全日本空輸、日本航空、東陽倉庫、日本トランスシティ、近畿日本鉄道、名古屋鉄道、西日本旅客鉄道、東日本旅客鉄道、トヨタ輸送、トランコム、日本通運、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、西日本電信電話

卸売・小売業、飲食店 日清医療食品、伊藤忠食品、大塚商会、岡谷鋼機、花王カスタマーマーケティング、カノックス、キヤノンシステムアンドサポート、興和、国分、ジュピターコーポレーション、スズケン、扇港電機、第一実業、ダイワボウ情報システム、瀧定名古屋、タキヒヨー、中央工機、東海エレクトロニクス、東海澱粉、トーカン、豊島、トヨタL&P中部、豊通ケミプラス、日伝、初穂商事、パロマ、ブラザー販売、三谷商事、八神製作所、ユアサ商事、リコージャパン、リンクツ、渡辺パイプ、オリバー、カリモク家具、サンゲツ、大日本木材防腐、ジェイアール東海高島屋、セブーンイレ

ブン・ジャパン、ファミリーマート、ユニー、ニトリホールディングス

金融・保険業 愛知銀行、大垣共立銀行、十六銀行、第三銀行、中京銀行、名古屋銀行、日本銀行、百五銀行、北陸銀行、三重銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券、野村證券、みずほ証券、蒲郡信用金庫、岐阜信用金庫、桑名信用金庫、セディナ、東海労働金庫、トヨタファイナンス、三菱UFJニコス、大和証券グループ本社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、あいおいニッセイ同和損害保険、住友生命保険、損害保険ジャパン日本興亜、第一生命保険、東京海上日動火災保険、日本生命保険、三井住友海上火災保険、明治安田生命保険

建設業 トーエネック、旭化成ホームズ、住友林業、積水ハウス、大成建設、大和ハウス工業、竹中工務店、NIPPO

製造業 日本たばこ産業、大王製紙、旭サナック、オーエスジー、川本製作所、クボタ、新東工業、スギノマシン、大豊工業、日本ヒューレット・パカード、ホシザキ電機、マキタ、村田機械、エーザイ、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、協和発酵キリン、三和化学研究所、塩野義製薬、ゼリア新薬工業、大日本住友製薬、大鵬薬品工業、武田薬品工業、日華化学、日本新薬、日本メナード化粧品、ホーユー、クリナップ、三和シャッター工業、タカラスタンダード、トーヨーキッチンアンドリビング、

三協立山、トヨタミ、リンナイ、YKKAP、講談社、新日本法規出版、大日本印刷、アサヒ飲料、イチビキ、伊藤園、春日井製菓、日本ハム、ブルボン、森永製菓、山崎製パン、豊通マシナリー、メニコン、アイホン、河村電器産業、住友電装、デンソー、ニデック、浜名湖電装、富士通、アイカ工業、アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、小島プレス工業、三五、シーヴィテック、スズキ、東海理化電機製作所、トヨタ自動車、豊田自動織機、林テレンプ、フタバ産業、本田技研工業、TOTO、LIXIL、ホクト、ファーストリテイリング、フジパングループ本社

不動産業 住友不動産販売、積和不動産中部、東急リバブル、三井不動産リアルティ

公務員 航空管制官、厚生労働省(労働基準監督官)、国税庁、国家公務員・一般職(行政・東海北陸)、国家公務員・総合職、裁判所職員・一般職、自衛隊幹部候補、法務教官、愛知県教育委員会、愛知県警察本部、愛知県庁、大阪府教育委員会、岐阜県教育委員会、岐阜県警察本部、岐阜県庁、警視庁、神戸市消防局、財務省東海財務局、静岡県教育委員会、静岡県警察本部、静岡県庁、東京都特別区、東京都庁、富山県教育委員会、富山県警察本部、富山市役所、豊田市消防本部、豊田市役所、長野県教育委員会、名古屋市教育委員会、名古屋市消防局、名古屋市役所、浜松市消防本部、浜松市役所、福井県警察本部、福井県庁、三重県教育委員会、三重県警察本部、三重県庁、横浜市消防局

法学部初の
学部同窓会

法学部卒業生ら109人
連携強め飛躍誓う

大学と卒業生の連携を目的に、11月1日、第一回法学部同窓会が名古屋キャンパスで開かれ、第一期生から在学生までの同窓生ら91人と、教員ほか本学関係者18人が親睦を深めた。本学は例年、学部を超えた全学の同窓会を実施しているが、学部別の同窓会は初めて。

同窓会員は、1966年の開設から今春までに約1万7千人の卒業生を輩出している法学部と、1976年に開設し、約280人が修了している法学研究科の卒業生。学部創設50周年を目前にして、卒業生のネットワークを強化したいという要望が同窓会や事務局にも上がっていた。

梅村清英理事長は「本学で初となる学部同窓会の設立は、本学長期計画NEXT10の一つ「卒業生連携プロジェクト」の一環でもある」と述べている。金川康二・法学部同窓会会長は、「会員相互の親睦を深めるとともに、絆をしっかりと持ちたい。法学部と中京大学の発展に寄与できるような法学部卒業生の連携を強め、さらなる飛躍と飛躍を目指していきたい」と、抱負を語った。

同窓生らは、弁護士や公務員、起業家など職種を超えて交流し、人脈を広げた。久々に会う教員、同窓生と近況報告や思い出話などに花を咲かせ、いつまでも旧交を温めていた。



同窓生と教員ら109人が集まった「法学部同窓会」

中京
往人

半歩ずつクリア
明確な目標で自己管理

原 晋すけむさん
青山学院大学 陸上競技部長距離監督

今年の箱根駅伝は、青山学院大学が史上最速のタイムで初優勝した。30年近く出場できなかったチームを、原晋さんは就任11年目で頂点へと導いた。「正選手や控え、応援してくれた人す



べてがワクワクするレースができた。『ワクワク大作戦』は大成功」と話す原監督。一番ワクワクしたのは本人のようだ。

「中京大学卒業後、電力会社に入社。27歳まで陸上を続けた。選手として真剣にやっていた。選り成果もだが、陸上への未練から充足感はなかった」と語る。一念発起してサラリーマン生活にピリオドを打った。

青山学院大学の長距離監督に就任し、「10年後には優勝争いに加わる」と宣言。高い目標に周囲は驚いたが、サラリーマン時代に培ったノウハウと実行力で着実に歩んできた。

「指導方法が特徴的だ。選手たちには目標管理シートを作らせ、達成率や今後の目標を理由とともに書かせている。やるべきことが明確になり、自己管理ができるようになる。ケガも減ってきた」と成果を実感。「夢はチームと個人の両輪で共有。目標はキヤッチできそうな半歩先まで落とし込む」と指導している。

原さんが学生の時、陸上の中尾監督に「自らの意思や考えで動かなければ成果はでない」と教えられた。そして今、「選手たちは目標管理を通して、自分の考えを表現できる素地ができてきた」と成長を見守っている。

●広島県三原市出身。1989年中京大学体育学部卒業後、中国電力入社。2004年から現職。

編集記

昨年、海外ビジネス研修で引率した学生たちに食堂で偶然会い、「大学職員になるにはどうしたらいいですか」と聞かれた。研修では将来を考えるヒントになるよう情報や小売り、メーカーなど様々な職場を訪れたが、私たちの仕事ぶりを見て興味を持ってくれたことがうれしかった◆1年生だった彼らも3年次を前に、将来の仕事について真剣に考える時期を迎えている。納得して就活を終えた4年生に話を聞くと、早期から自己分析や目標設定、業界研究などの準備を行っていた◆本学は就活生に向け、卒業生が仕事の様子を伝えるイベントや、優良企業の内定者による学生アドバイザー制度を設けている。私が学生だった頃に比べ、就職支援にとっても恵まれていると感じる◆秋学期は各学部で、集大成となる研究成果の発表を見せてもらった。スポーツや課外活動に打ち込んだ経験も、意中の企業へアピールする材料になる。キャリアセンターを有効利用して、充足感ある就活にしてほしい。(ま)

本学と中部経済同友会主催の公開講座「景気シンポジウム来年の経済見通し」が12月2日、名古屋市内の名古屋マリOTTアソシアホテルで1100人を集めて開かれた。井内摂男・中部経済産業局長、江川豪雄・三菱航空機(株)取締役会長兼最高経営責任者、新美篤志・中部経済同友会代表幹事(株)ジェイテクト取締役会長、宮川正裕・本学大学院ビジネス・イノベーション・研究科長(総合政策学部教授)の4人をパネリストに迎え、奥野信宏・梅村学園理事兼本学総合政策学部教授がコーディネーターを務めた。

さらなる規制緩和を

奥野教授 最初に日本経済の現状、中長期的な課題について聞かせていただきたい。

井内局長 景気はゆるやかに回復していると思われるが、個人消費は伸び悩み、7-9月期の実質成長率速報は、前期比で予想外に低く0.4%減だ。企業の在庫調整もしばらく続くだろう。雇用が上昇している一方で、人手不足も生じている。中部地域の調査では、金属工作機械などの受注・設備投資は堅調で、今後の広がりに注目したい。

新美会長 現在の自動車産業は、グローバル戦略を視野に展開している。自動運転技術など世界に通じる先端分野には、自動車関連企業に加え、IT企業も参画し、産業のすそ野は広い。今後は工業技術だけでなく、酒

景気シンポジウム
2015年の経済見通し



井内 摂男氏



江川 豪雄氏



新美 篤志氏



宮川 正裕氏



奥野 信宏氏

堅調な景気回復に期待

造や漆器加工など、伝統工芸を含む日本の技を世界にいかにかに発信していくかが課題だ。

宮川教授 景気は回復基調で、円安は航空機業界や海運などのコスト削減にもつながっている。今後は規制緩和が課題で、民間企業の活性化が必要だ。中長期的に求められる政策は、海外市場での競争力強化である。リスク管理として地政学的影響な

ども備えておく必要がある。

ものづくりの技を
世界へ発信

奥野教授 次に名古屋圏の産業がめざすべき方向性は？
江川会長 中部地域には製造業の20%が集まっている。航空機産業は実に半分以上がこの地域に集中し、その利点を活かしたい。

後の戦略についてうかがいたい。
江川会長 経済政策による、中部地区での航空機産業のクラスター(特区)づくりを期待する。市場の将来性があり、産学が協力し、女性活用を含めさらなる人材育成を望みたい。ものづくり(生産機能)の集約だけでなく、本社機能や研究開発機能も揃えたビジネス拠点をめざすべきだろう。

宮川教授 今後に向けイノベーションの必要がある。技術革新に限らず、プロダクト(製品)やプロセス(過程)の革新にも意義がある。従来の発想を転換した試みや変化が、地域の活性化に結びつく。まず、「やってみなはれ」の気持ちで、挑戦することが大切。小さな変革を社会の革新につなげられるように、若い人

たちを勇気づけ、20年〜30年かけて新しい名古屋をつくっていく戦略的取り組みが必要と考える。
奥野教授 消費税増税によって、今秋までは景気情勢が厳しかったが、来年度実質2%は伸びると予測できる。私は第7次国土計画づくりに関わっているが、リニア中央新幹線開通によって東京・名古屋間が40分で結ばれる。名古屋に住み、東京へ通う動きも考えられ、名古屋圏の活性化に期待できる。

革新視野に人材育成

奥野教授 最後に名古屋圏の今

開学60周年記念事業

全国青年弁論大会
(日本弁論連盟、本学主催)

聴衆の表情読み訴える

開催されるのは第21回、第37回に続き3回目。



40人の弁士がそれぞれの思いを主張

第59回文部科学大臣杯「全国青年弁論大会」(日本弁論連盟、本学主催)が11月9日、名古屋キャンパスで行われ、大学生を中心に一般、中高生合わせて計40人の弁士が競った。
中京大学開学60周年記念事業の一環として招致され、教職員が運営全般に携わった。本学で

江島優・日本弁論連盟会長は「若く、将来性のある皆さん、弁論を通じて色々なことを学んでいただきたい」と、今大会総裁の北川薫学長は「情報があふれる世界だからこそ、聴衆の顔を見て、表情を読んで生身で訴えることが一層求められている」とあいさつ。来賓の大村秀章・愛知県知事は「社会はグローバル化、複雑多様化する中、若者が自らの主張を堂々と訴えていくことが大事」、梅村清英・本学園理事長は「本日の弁論大会が60周年記念行事の締めくくり。熱い思いを語ってください」と期待を込めた。

文部科学大臣杯に輝いたのは、「おばあさんも山に柴刈りへ」の演題で発表した西澤由佳さん(千葉女子高等学校)。審査委員長の神田真秋・元愛知県知事は「弁論は、うまく喋ることよりも話の中身が大切。人の心をとらえ、説得するための技術も重要」と講評し、テーマの選び方、体験談からのステツプアップなどをアドバイスした。



本選で堂々とプレゼンする学生たち

るための啓発ツール」。審査員からは「実際に作ったものを見せながらの発表に心を掴まれた。試行錯誤して作る過程や、見えにくい人たち、カレンダーを使う人などの実際の意見を出すのもっと良かった」と評された。

された。

優秀賞には、宮内ゼミの「保育ママ雇用促進のためのユニット保育ママ」、羅ゼミの「MA-CHEER UP!〜抹茶で繋がる地域の絆」がそれぞれ選ばれた。審査委員長の関根利治さん(ヤマト運輸中部支社)は「説得力あるプレゼンやプロジェクトリーダーとしてのマネジメント能力は社会に出て力になる」と講評した。桑原英明学部長は「アイデアの実現時に、信頼や共感を得ることが大事」と激励した。

同報告会は、教育の一環として毎年2、3年生が企画・運営している。審査員の依頼交渉や、パンフレットの編集、リハーサルなどの準備をしてきた。当日も、司会、来賓の接待、受付や警備などを担当した。

2015年度 在学生の学費 (単位:円)

		1年生	2年生	3年生	4年生
入学金		200,000			
授業料	現代社会・法・経済学部	745,000	755,000	765,000	775,000
	文学部	765,000	775,000	785,000	795,000
	国際英語学部(国際英語学科)	775,000	785,000	795,000	805,000
	国際英語学部(英米文化学科)			785,000	795,000
	国際教養学部	795,000	805,000	815,000	825,000
	心理学部	800,000	810,000	820,000	830,000
	総合政策学部	795,000	805,000	815,000	825,000
	経営学部	745,000	755,000	765,000	775,000
	情報理工学部				905,000
	工学部	875,000	885,000	895,000	
	スポーツ科学部	830,000	840,000	850,000	860,000
教育充実費	現代社会・法・経済学部	230,000	230,000	230,000	230,000
	文学部	230,000	230,000	230,000	230,000
	国際英語学部(国際英語学科)	280,000	280,000	280,000	280,000
	国際英語学部(英米文化学科)			240,000	240,000
	国際教養学部	240,000	240,000	240,000	240,000
	心理学部	275,000	275,000	275,000	275,000
	総合政策学部	230,000	230,000	230,000	230,000
	経営学部	230,000	230,000	230,000	230,000
	情報理工学部(情報システム工学科)				310,000
	情報理工学部(情報メディア工学科・機械情報工学科)				345,000
	工学部	345,000	345,000	345,000	
スポーツ科学部	300,000	300,000	300,000	300,000	
特別奨励費	スポーツ科学部	50,000	50,000	50,000	50,000
実験実習費	心理学部	30,000	10,000	10,000	10,000
	情報理工学部				60,000
	工学部	60,000	60,000	60,000	
	スポーツ科学部	40,000	20,000	20,000	20,000
オリエンテーション実習費	文学部	6,000			
	経営学部	15,000			
合計	現代社会・法・経済学部	1,175,000	985,000	995,000	1,005,000
	文学部	1,201,000	1,005,000	1,015,000	1,025,000
	国際英語学部(国際英語学科)	1,255,000	1,065,000	1,075,000	1,085,000
	国際英語学部(英米文化学科)			1,025,000	1,035,000
	国際教養学部	1,235,000	1,045,000	1,055,000	1,065,000
	心理学部	1,305,000	1,095,000	1,105,000	1,115,000
	総合政策学部	1,225,000	1,035,000	1,045,000	1,055,000
	経営学部	1,190,000	985,000	995,000	1,005,000
	情報理工学部(情報システム工学科)				1,275,000
	情報理工学部(情報メディア工学科・機械情報工学科)				1,310,000
	工学部	1,480,000	1,290,000	1,300,000	
スポーツ科学部	1,420,000	1,210,000	1,220,000	1,230,000	

2015年度 入試

AO・推薦入試 志願者2,791人

本学の2015年度入学試験が10月11日に国際英語学部、国際教養学部のAO入試でスタートした。推薦入試は、

11月15日に本学会場で特I(一部)・特III(一部)を、11月22日には一般・特I・特II・特IIIを本学会場に加え、全国15の会場で実施した。スポーツ科学部のAO入試および一般推薦入試「実技型」は11月29日に実施した。

志願者数は全学部合計で2,791人(前年2,743人)であった。合格者は、1,487人(前年1,632人)。

2015年度 AO・推薦入試 志願・合格者数(人)

※併設校・附属校推薦の志願者・合格者は除く
※第2志願合格者を含まない

学部	学科	定員	志願者数		合格者数	
			2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
文	日本文	23	53	45	33	27
	言語表現	23	51	54	29	34
	歴史文化	23	53	68	36	39
国際英語	国際英語 国際英語キャリア専攻	18	78	66	24	30
	国際英語 英語圏文化専攻	18	47	63	29	35
	国際英語 国際学専攻	18	35	33	26	19
国際教養	国際教養	36	95	68	54	46
心理	心理	50	119	149	63	63
現代社会	現代社会 社会学専攻	34	123	-	54	-
	現代社会 コミュニティ学専攻	34	83	-	59	-
	現代社会 社会福祉学専攻	13	28	-	15	-
	現代社会 国際文化専攻	15	16	-	11	-
	現代社会	-	-	268	-	176
法	法律	114	256	235	160	185
総合政策	総合政策	82	141	197	110	101
経済	経済	125	433	345	230	257
経営	経営	106	318	313	143	170
工	機械システム工	30	81	73	40	40
	電気電子工	30	47	42	29	27
	情報工	30	72	73	42	52
	メディア工	22	31	42	26	36
スポーツ科	スポーツ教育	40	103	124	45	64
	競技スポーツ科	190	320	285	184	193
	スポーツ健康科	30	208	200	45	38
	合計	1,104	2,791	2,743	1,487	1,632

前期入試 志願者速報

(1月19日時点)

前期入試の出願が1月7日から始まり、1月16日に締め切られたM方式の志願者数が確定した。3,803人(前年3,704人)。

A方式、得意科目重視型CP方式、センター試験利用方式(3科目型)は1月23日、センター試験利用方式4科目型・5科目型は2月2日が出願締め切り。

試験日は2月1日がM方式、2月4、5、6、8日がA方式、2月7日が得意科目重視型CP方式の6日間(センター試験利用方式は個別試験を課さない)。全国18会場で実施する。合格発表は全方式2月17日。

後期日程のF方式、センター試験利用方式の願書受付は2月17日から。合格発表は3月17日。



総合政策学部

プロジェクト 研究報告会

学習の集大成を発表

総合政策学部の3年生が所属するゼミナール「プロジェクト研究」の成果を発表する「プロジェクト研究報告会本選」が1月16日、名古屋キャンパスの清明ホールで開かれた。学部の学びの集大成として秋学期の最後に行われており、今年で8回目。2次予選16組から選ばれた代表6組が、15企業・官公庁・団体による審査員の前で堂々とプレゼンした。

最優秀賞は、坂田ゼミの「MUDを広め

2014年度 卒業式のご案内

本学は、2014年度卒業証書、学位記授与式を下記の通り開催する。

■日時 2015年3月19日

午前の部 10:30～

午後の部 13:30～

■場所

日本特殊陶業市民会館
(名古屋市中区)

●午前の部

【学部】文、国際英語、国際教養、心理、総合政策、経済、経営

【大学院】文学、国際英語学、心理学、経済学、経営学、ビジネス・イノベーション

●午後の部

【学部】現代社会、法、情報理工、スポーツ科、体育

【大学院】社会学、法学、情報科学、体育学、法務

式では、学業で優秀な成績を修めた卒業生に学長賞や学部長賞を、課外活動で活躍した卒業生に創立者賞を贈る。式の後は、学友や恩師と記念撮影や思い出話に花を咲かせ名残を惜しむ姿も多い。

保護者席は3、4階。



心理学部

松本 友一郎ゼミ 〈3,4年〉

2. 集団や暮らしの中の不思議
心と行動の仕組みを探る

10万円のハワイ旅行を「お値打ちだから行きたい」と言う人もいれば「もったいない」と言う人もいる。大学生の金銭感覚を研究しているグループは、支出に対する心の痛みを尺度にした『心理的財布』について調査した。オシャレ用や生活必需品用など心理的財布を7種類に分類し、性格と関連付けた。松下結子さん(4年)は「誠実性の高い人は高級品の購入に痛みを伴う。意外にも、外交性や調和性の高い人も同様の結果が表れた。ライフスタイルによって価値観は違う」と話す。

大学生の先輩に対する行動が、体育系のクラブとサークルでどのように違うかを研究しているグループは、①礼儀②服従③衝突回避④参照⑤親交⑥攻撃の6分類による対先輩行動を比較した。宮田早矢香さん(4年)は「礼儀や衝突回避は、上下関係の厳しいクラブでも、甘いサークルでも大差はなかった。サークルでは、好き、楽しいという気持ちが自発的に先輩を敬う行動を生んでいる」と分析する。先輩とどのように接するか。社会人になっても多くの人が抱える課題だ。

日常生活の中で起こる、「人の心と行動」の不思議と仕組み(=社会心理学)について研究している松本友一郎ゼミ。研究テーマは集団や組織の心理学、暮らしの中の心理学だ。「たとえば職場内で本来は言うべき本音がなぜ言えないのか。なぜ望まない争いをするのか。一見当り前で研究対象にならないように思えるであろうが、人は当たり前なことが何故かできない」と社会心理学の奥深さを語る松本講師。ゼミ生には自分の意見に責任を持つことの大切さを伝えている。

社会学

3. 経験と素朴な思いを大切に
今に疑問持つことが第一歩

地方の人口減少が止まらない。就職できる企業や設備の整った医療施設、塾なども少ない。田舎で暮らす若い世代は将来に不安を感じて、一層、都会に流れていく。鈴木学美さん(3年)は「地方の衰退は、日本全体が力を落とすことになる」と危機感を抱く。実家の田舎の今後が心配なこともあって、日本の人口流出の研究を始めた。注目したのは、都市と地方の中間に位置する中核都市。「居住区(拠点)を中核都市にすれば、都市へ仕事に行くことも、地方の豊かな自然や田舎ならではの温かい交流に触れることも可能になる。中核都市の在り方が地方再生のカギになる」と話す。

悩みを抱える子どもを支える仕事に就きたいという河井香月さん(3年)は「居場所を求める子どもたち」をテーマに研究している。思春期は特有の悩みや葛藤があり、苦悶や表現の仕方は人それぞれ違う。時には、ひきこもりや不登校、非行、少年犯罪など、非社会的または反社会的な行動をとる場合がある。「逸脱(不適応な)行動をとる子どもは、普通の社会から距離を置いているだけ。逸脱行動を否定しないで、居場

現代社会学部

大岡 頼光ゼミ 〈2~4年〉



所を求めている子どもに大人が共感してあげることが重要と分かった。子どものSOSを感じ取れる人間になりたい」と研究成果を自身の目標につなげた。

大岡頼光准教授はゼミ生を募集する時、「社会学は自分の経験に基づくことが重要。素朴な思いを大切に」と伝える。指導する際は「今が当たり前と思わないように」と多方面からの検討を促している。

ゼミに + フォーカス focus on seminars

【第4回テーマ】「人間の行動」

日常から社会的課題考え 解決する意識持ち続ける

人間の行動は歴史や文化、進化のもとに存在し、時に非合理的で、感情や直感にも影響を受けている。

環境への配慮や、先輩との接し方など、私たちの日常的な行為を科学的に理解しようとするゼミがある。身近なテーマについて経験を踏まえながら検証していくことで、学生は社会に出てどのような役割を果たしていくか、問題意識を持ち続けていくかが期待されている。

企業の社会的責任、地方の人口減少など、現実の社会問題を解決していこうと「人間の行動」を分析する経済、心理、現代社会学部のゼミを訪ねた。

環境経済学

1. 環境に貢献する動機を分析 社会的課題に向き合う人材へ

経済学部

内田 俊博ゼミ (2~4年)

人は金銭的なメリットがなくても、自発的に自然や社会などの「環境」に良いことをしようとする。内田俊博准教授のゼミは「環境経済学」をテーマに、通常の経済学では説明のつかない、環境に対する人々の行動の背後にある信頼や協力、アイデンティティといった動機を科学的に探っている。丹羽紘希さん(2年)は、「数学みたいに決まった結果が出る訳ではなく、経済学に加えて心理学や哲学、考古学などの要素があることがゼミの魅力」と、多面的にものごとを考える視点を養っている。

サッカーJ1チームの名古屋グランパスは、試合会場で収集した紙コップをトイレトペーパーにリサイクルしたり、選手による植樹を行うなど温暖化対策に力を入れている。サッカーが好きな3年生のグループは、「"グランパスの一員だと自負している"ような熱心なファンほど、グランパスと同様の環境貢献に力を入れているのではないかと仮説を立て、スポーツチームの環境貢献活動がファンに与える影響について調べた。

「照明をこまめに消す」「エコカーを使用している」



毎週行われる2年生のグループディスカッションはグループ貢献のためのリーダーシップも培う



インターゼミに向け、発表の練習を行う3年生

など6項目についてオンラインでアンケート調査し、係数値を統計学的に推定する計量モデルを使って検証。12月6日に富山大で開かれた、中部地区の7大学23ゼミが51研究を報告し合う「中部経済学インターゼミ」で、中瀬古直樹さん(3年)は「観戦数、チームへの愛着度、ファン歴のいずれも仮説と整合的であると言える。影響力の強い選手とファンイベントで触れ合えるといった付加価値があれば、それをきっかけに、さらに環境を意識するファンの増加につながるのでは」と発表した。

企業はいま、利益のみならず環境経営やCSR(社会的責任)を追求している。自治体にとっても環境政策を避けては通れない。こうした社会的課題にどのように関わり、貢献していくか。杉本侑司さん(3年)は「企業活動が周囲の環境に与える影響と、環境が企業に与える影響について、常に双方から考えられる社会人になりたい」と期待を膨らませている。

フィギュアスケート・インカレ団体 男女アベック優勝

日本学生氷上選手権大会(1月8日、釧路市)のフィギュアスケート部門で、本学スケート部が、男女ともにAクラスの団体戦で1位となり、アベック優勝を決めた。男子の団体優勝は第84回大会以来3年ぶり3回目、女子は初の団体優勝を果たした。

個人戦では、男子Aクラスで日野龍樹選手(スポーツ科2、中京大中京)が優勝、女子Aクラスは大庭雅選手(スポーツ科1、中京大中京)が2位に輝いた。

また、フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー(男子のみ)を合わせた大学対抗得点は、本学女子がフィギュアだけで8点を獲得し、女子総合で初優勝を飾った。男子総合は6位。



優勝カップと賞状を手に喜ぶ選手たち



中日新聞提供

ダイナミックな演技を披露する小塚選手

全日本フィギュア選手権 小塚崇彦選手が銅メダル

フィギュアスケートの全日本選手権(12月25～28日、長野市)男子シングルスで、小塚崇彦選手(体育学修士2年、トヨタ自動車)が合計245.68点で昨年に引き続き3位に入った。小塚選手は「これからどういう道に進むとしても、この結果は財産になる」と喜びを語った。

無良崇人選手(2013年体育卒、HIROTA)は合計236.40点の5位、日野龍樹選手が9位に入った。中京大中京高等学校の宇

野昌磨選手(2年)は合計251.28点の2位となり、シニア初の表彰台に上った。宇野選手はジュニアGPファイナル(12月12日、バルセロナ)を制している。

また、女子シングルスで村上佳菜子選手(スポーツ科2年、中京大中京)が合計168.29点で5位。ペアで唯一出場した木下クラブ所属の木原龍一選手(スポーツ科4年、中京大中京)と高橋成美選手組は合計150.94点で大会2連覇を達成した。

同選手権は今年3月に行われる世界選手権(上海)の代表選考会も兼ねており、小塚選手、村上選手、無良選手、ペアの木原選手の4人が代表選手に選ばれた。村上選手は「選んでいただいた以上は、表彰台を目指す」と意気込みを語った。

体育会の記録 主な戦績:11、12月

国際大会

スケート部フィギュア

- ◆メラノカップ(イタリア)
 - 男子シングル優勝:日野龍樹選手
- ◆グランプリシリーズ中国杯
 - 女子シングル3位:村上佳菜子選手
- ◆グランプリシリーズNHK杯
 - 女子シングル4位:村上佳菜子選手
 - ペア総合7位:木原龍一選手
- ◆グランプリシリーズロシア杯
 - 総合6位:大庭雅選手
 - 総合6位:小塚崇彦選手
 - ペア総合7位:木原龍一選手

スキー競技部

- ◆ワールドカップ
 - デュアルモーグル26位:岩本憧子選手

全国大会 ※個人種目は入賞のみ

新体操部

- ◆全日本選手権

男子個人総合2位:白井優華選手

体操競技部

- ◆全日本団体選手権 女子団体総合3位

フェンシング部

- ◆全日本学生対抗選手権
 - 女子団体サーブル準優勝
- ◆全日本個人選手権
 - 女子サーブル3位:浦野夏菜選手

硬式庭球部

- ◆全日本学生室内選手権
 - 女子シングルスベスト4:高松奈央選手

男子ハンドボール部

- ◆高松宮記念杯全日本学生選手権
 - ベスト16

女子ハンドボール部

- ◆高松宮記念杯全日本学生選手権
 - ベスト8

男子バスケットボール部

- ◆全日本大学選手権 ベスト16

女子バスケットボール部

- ◆全日本大学選手権 ベスト16

剣道部

- ◆全日本学生優勝大会 男子団体ベスト16

- ◆全日本女子学生優勝大会

女子団体1回戦敗退

男子バレーボール部

- ◆秩父宮賜杯全日本大学選手権
 - 2回戦敗退
- ◆天皇杯・皇后杯全日本選手権
 - 1回戦敗退

女子バレーボール部

- ◆秩父宮妃賜杯全日本大学選手権 ベスト4
- ◆天皇杯・皇后杯全日本選手権
 - 2回戦敗退

アルティメット部

- ◆全日本新人選手権 女子5位

チアリーディング部

- ◆全日本学生選手権 12位

陸上競技部

- ◆全日本大学女子選抜駅伝競走
 - 総合17位
- ◆皇后杯全国女子駅伝
 - 総合4位:荘司麻衣選手
- ◆全日本大学対抗駅伝 20位

2020 東京オリンピック・パラリンピック

連携大学による フォーラム

学生・教職員130人が アイデア出し合う



本学と組織委員会との協定書



分科会で議論を交わす東海地区連携大学の学生や教職員

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック。同組織委員会は、連携協定を結んでいる大学の学生や教職員と、東京オリンピック・パラリンピックについて語り合い、アイデアを出し合う「連携大学地域巡回フォーラム東海ブロック大会」(本学共催)を11月5日に本学名古屋キャンパスで開催した。東海4

県の大学生、教職員130人が参加し、本学からは多くの学生、教職員が積極的に関わった。

北川薫学長は「本学は組織委員会と連携して進められるようにプロジェクトを立ち上げた。東京オリンピックは、日本人を心身ともに元気にするだろう」と成功に向け、協力を誓った。

5つのテーマの分科会(①オリンピック教育の推進、②パラリンピックの理解促進、③グローバル人材の育成、④地域活性と文化発信、⑤おも

てなし)に分かれて議論し、全体会で代表者が発表した。本学国際教養学部3年の荻原里菜さんは「多くのボランティアが参加するので、今から子どもたちに、人との関わり方や人を大切にする気持ちを教育してることが課題」と、スポーツ科学部4年の安江あ也香さんは「大学は施設の活用、自治体はオリンピックの経験を生かした事業、自分たちは困った人の支援ができる」と述べた。

フォーラムの企画運営を担当した来田享子・本学スポーツ科学部教授(同組織委員会大学連携検討委員会メンバー)は「多くの人に関わりアイデアを出すことで、オリンピックそのものも変わっていく。それが世界を変える力になっていくこともある。フォーラム参加者が、こうした歴史の一部を共有し、これからの交流促進の契機に」と期待を込めた。

東南アジアの学生「日本武道」テーマに本学訪問

政府が進める青少年交流事業の一環

政府が進める青少年交流事業の一環で、日本武道(空手、剣道)をテーマに集まったカンボジア、ミャンマー、マレーシアの大学生・中高生の訪日団26人(14~28歳)が、11月13日、本学豊田キャンパスを訪れた。日本武道を通して日本の魅力を知ってもらう6日間のプログラムで、愛知県内の最先端技術の施設、史跡も見学した。

本学では「武士道」に関するミニ講義、空手と剣道の実技練習、本学学生との交流会が行われた。空手の実技練習を終えたミャンマーのダジン・エイさんは「母国の道場より練習がハードで疲れたが、中京大生が親し

く接してくれたので楽しくできた」と、マレーシアのヒイ・スーザンさんは「これまで疑問だった剣道の正面という概念が、説明を聞いて初めて理解できた」と笑顔で感想を語った。

交流会には、レクリエーション部や有志の学生たちも加わり、4カ国60人の学生たちが会話を楽しんだ。相手との共通点を見つけ出すアイスブレイキングゲームも好評で、身振り手振りを交え趣味や好きな食べ物などを確認していた。空手道部の山下真由美



東アジアの学生を空手道部が指導

さん(スポーツ科学部3年)は「空手を通して日本と途上国の懸け橋になりたいと、指導者を目指している。今日、夢に一歩近づけた」と感慨深げに語った。

うにあえて見えにくくしたり、見やすい印刷物チェックリストを設けるなどの仕掛けを取り入れた。田下文菜さん(3年)は「マルワ様との間での意見の食い違いを何度も経験した。私たちが消化しきれない専門的な話もあったが、打ち合わせを重ねることで、お互いのイメージを埋めていくことが良い経験となった」と話している。

同企画は「大学生のためのマーケティング研究講座」(10月20日、中部マーケティング協会主催)でも最優秀賞を受賞した。



坂田ゼミ生が企画したカレンダー



調査

外間町長から話を聞く学生

沖縄でヒアリング調査 教科書にない現状知る

春学期に沖縄本島・八重山諸島に関する問題について学んだ法学部の古川ゼミ(担当:古川浩司教授)生らは、8月25日~9月2日に各自の研究テーマについて現地でのヒアリング調査を行った。学生36人(総合政策学部佐道ゼミ4人を含む)は3班に分かれて、八重山諸島で与那国町長の外間守吉さんから与那国島の現状と課題について、八重山漁業協同組合長の上原亀一さんから八重山諸島の漁業問題について、沖縄本島で在沖米国総領事のアルフレッド・マグルビーさんから米軍基地や日米関係について話を聞いた。

普天間基地移設問題で話題にあがった辺野古では、最近、メディアで直接報道される機会が少なくなったものの、今なお根強い反対運動があるという現状を目の当たりにした。学生は、教科書では知ることのできない、現地での状況を自分の目で見て感じ、先入観にとらわれない広い視野から物事を見て判断する大切さを学んだ。田中有美さん(2年)は「これらの諸問題について調査を続け、もっと多くの人に知ってもらいたい」と意気込んでいた。

◎2014年度の主な活動成果

受賞(コンテスト、学会等)

- ◆電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞
- ◆知能メカトロニクスワークショップで優秀講演賞
- ◆精密工学会・映像情報メディア学会サマーマセミナーで優秀発表賞
- ◆日本スキー学会で優秀発表賞
- ◆大学生のためのマーケティング研究講座で3連覇
- ◆政策立案コンテスト「未来松阪市」で市長賞
- ◆KUBICビジネスプランコンテストで優秀賞、企業賞
- ◆学生発⇒豊田市まちづくり提案で豊田青年会議所賞
- ◆愛知デジタルコンテンツコンテストで入賞
- ◆メディア・ユニバーサルデザインコンペティションで経済産業大臣賞
- ◆キャンパスベンチャーグランプリ中部で中部経済連合会会長賞、奨励賞

産官学連携

- ◆フタバ化学とハンドジェル「香っ手(かおって)キレイ」を企画・商品化
- ◆エストネカフェと「てまり寿司プレート」を企画・開発
- ◆スーパー・サンエースと産学共同でイベント
- ◆松阪市の特産品生かした「あられ」を産官学連携で開発
- ◆カネカ製菓と「小倉バター風味最中」を開発
- ◆緑のパン工場an-Jと「中京マークの秋の5色あんぱん」と、「ささみコーンカレーパン」を企画・販売
- ◆和菓子店・不老園正光と「彩り抹茶ぜんざい」と「メッセージ付き干菓子」を開発・販売

地域貢献、研究発表

- ◆美濃加茂市役所に政策提案
- ◆電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会で研究発表
- ◆Apple Storeで英語プレゼンテーション

◆仙台市で震災復興ボランティア

- ◆中日本高速道路(株)に企画提案
- ◆沖縄本島・八重山諸島でヒアリング調査
- ◆中日ドラゴンズに野球観戦グッズを提案
- ◆「名古屋国際関係合同ゼミナール」で発表
- ◆「愛知合戦ワールド」で総合案内
- ◆名古屋市消費生活フェアに出展

文化・課外活動

- ◆謙慎書道会展で秀逸、褒状
- ◆子ども会でゲームを企画
- ◆小学6年生を対象に交通安全教室
- ◆にっぽんど真ん中祭りで奨励賞
- ◆読売書法展で秀逸
- ◆障がいのある子どもたちと博物館巡る
- ◆小学生を対象に「スタンツ教室」で器械運動など指導
- ◆愛知県アンサンブルコンテストで大学の部金賞

◆学習・研究成果 ◆文化・課外活動

社会が実践の場 積極的に取り組む

専門知識に加え、実行力、課題発見力、柔軟性といった社会人基礎力などを、学生たちは学部の授業やゼミを通して身に付けている。一方で、クラブ活動にも打ち込み、技能や協調性を高めている。培った行動力やチームワークを生かして、学生の目線から社会をより良くしていこうと、外部に実践の場を求める学生が増え、成果を上げてきた。

コンテストや学会で研究成果や作品を発表、自治体や企業と共同で商品開発、行政へ政策提案、地域社会への貢献活動など、今年度も積極的な取り組みが多くの実を結んだ。先輩は経験を基に更に良い成果が出せるようアドバイスをを行い、後輩は生き生きと活躍する先輩を目標にして切磋琢磨する、良い循環が生まれている。

詳細は公式ホームページ「学習・研究活動」「文化・課外活動」に掲載。



全国大会で対局を行う囲碁倶楽部メンバー(左)

囲碁倶楽部が全日本学生囲碁選手権大会で4位となった。1チーム5人で戦い、対局ではチーム内の勝星が3以上の大学が勝ちとなる。地区大会で春季・秋季ともに優勝し、全国大会への出場は2年連続4回目となった。

ACTIVITY Topics

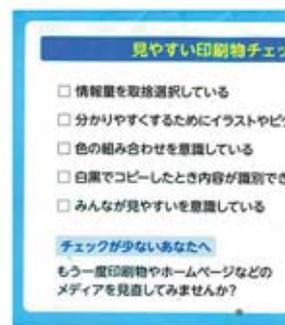
受賞

「見えにくい」カレンダー 経済産業大臣賞

「第8回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」(応募総数242点、12月19日、全日本印刷工業組合連合会主催)で、総合政策学部坂田ゼミ(担当:坂田隆文教授)が企画、(株)マルワが制作した「見えにくいカレンダー」が経済産業大臣賞を受賞した。

坂田ゼミ生は、誰にでも見やすい印刷メディアを提供しようとする考え方・MUD(メディア・ユニバーサル・デザイン)を広めるための啓発ツールを同社に提案。見えにくいと感じる印刷メディアのほとんどが企業の発行しているものだというアンケート結果から、取引先企業に渡す啓発ツールを用いることで、MUDの考え方が広まると考えた。

もらってうれしい販促グッズが何かということに関する調査結果をもとにカレンダーを提案。ストーリー性があり、めくりたくなるよう、見え方で苦労している人の気持ちがわかるよ



全日本学生囲碁選手権大会4位 2年連続4回目の出場で躍進

全国大会は地区予選を勝ち上がってきた8校での総当たり戦。北海道大学、東北大学、早稲田大学、金沢大学、立命館大学、岡山大学、九州大学が参加した。本学は4勝3敗、勝ち数18で4位となり、同じく4勝3敗、勝ち数19の岡山大学とは3位を巡って接戦を繰り広げた。

「新メンバーの参加に刺激されて、部員全体で棋力が向上した。昨年の8位から大きく躍進できたので、さらに上を目指していきたい」と部長の増山恵一さん(文学部3年)は抱負を述べている。



産学連携商品



創作ダンス発表会



中日ドラゴンズに提案



寺本明日香選手

中日新聞提供



フィルハーモニー交響楽団

創造 × 躍動
協調 × 練磨

- 総合政策学部宮川ゼミが産官学連携に取り組んだ「まつさかあられ」[㊤]と経営学部中村ゼミの産学連携商品「～中京マークの～秋の5色あんぱん」[㊦]
- スポーツ科学部の創作ダンス発表会
- 経営学部中村ゼミと総合政策学部坂田ゼミが中日ドラゴンズへ企画商品提案
- 平均台で世界選手権4位の寺本明日香選手(スポーツ科学部1年、写真は豊田国際体操競技大会)
- フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会